



こどもクリニックニュース

NO. 181 平成27年2月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年3月まで)

2月	2日	(月)	2才健診	騎西・保健センター
	18日	(水)	1才半健診	加須・保健センター
3月	13日	(金)	1才半健診	騎西・保健センター
	23日	(月)	3才健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

3月末まで、臨時の休診の予定はありません。

水曜日は、一日休診です。



小児科休日診療の予定

平成27年2月までの当番一覧です。
診療は9:00~12:00です。

2月	1日	(日)	ともながこどもC
	8日	(日)	福島小児科医院
	11日	(水)	つのだ小児科医院
	15日	(日)	加藤こどもC
	22日	(日)	ともながこどもC

3月	1日	(日)	福島小児科医院
	8日	(日)	つのだ小児科医院
	15日	(日)	ともながこどもC
	21日	(土)	加藤こどもC
	22日	(日)	福島小児科医院
	29日	(日)	ともながこどもC

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やHPなどで最新情報をご確認ください。

感染症の情報

インフルエンザの流行が続いています。

埼玉県では12月に流行のピークを迎え、全国に先駆けてインフルエンザ警戒警報が出されました。年末年始の休みのおかげか、今は当時の規模ではなくなっていますが、引き続き警報レベルの流行が続いています。ほとんどがA型です。

今後B型インフルエンザが流行してくる恐れもありますので、まだまだ気を緩めることはできません。外出から帰宅した時は手洗いをする、咳が出る方はマスクを着用することなど「咳エチケット」を心がけてください。

胃腸炎症状(嘔吐、下痢、発熱)の方も目立ちます。高い熱のある方はインフルエンザの初期症状と区別がつかない事も多く、検査が必要です。

RSウイルス感染症も流行しています。ほとんどの方は感染しても軽い風邪症状で治りますが、小さな赤ちゃんが感染すると肺炎や細気管支炎をおこすことがあります。感染予防はやはり手洗いや咳エチケットです。

加須市周辺では「おたふくかぜ」が流行しています。ワクチンで予防できる病気ですので、1歳以上のお子様には是非接種して欲しいものです。(任意接種ですので有料となります)

水痘(みずぼうそう)の流行について

水痘は毎年、年末から初夏にかけて流行を繰り返してきました。今シーズンも全国的に患者数は増えていますが、これまでよりも少なくなっているようです。その理由はもちろん昨年10月から始まった水痘ワクチンの定期接種です。1歳と2歳のお子様の水痘発症がほぼなくなり、保育園での流行規模が小さくなります。今後数年が経過すると、乳幼児の水痘患者さんは見なくなりそうです。大変うれしいことです。

おたふくかぜやロタ、B型肝炎ワクチンも早く定期接種に取り入れてほしいものです。



インフルエンザ検査のタイミング

今までにインフルエンザの検査を受けたことのある方は多いことと思います。

鼻の奥に綿棒を差し込んで、粘膜や鼻水を採取し、綿棒にしみ込んだウィルスを検出します。しみ込んだウィルスの量が多い時には強い反応が出ますし、逆にウィルスが少ないと、反応が弱く（見えなく）なります。

インフルエンザに感染した人の体の中（鼻やのど）では時間の経過とともにウィルスが増えてゆきますが、それには多少時間がかかります。ウィルスの増え方には個人差があり、特にワクチンを接種している方の体には免疫が来ていますので、ウィルスが増えるのにはより長い時間がかかります。そのため、熱が出てすぐに検査しても、インフルエンザの反応が出ないことがよくあります。

一方でタミフルなどのインフルエンザの治療薬は「熱が出てから 48 時間以内に開始すること」という決まりがあります。

したがって 1 回の検査だけでできるだけ早く治療を開始するには検査のタイミングがとても大事です。私は「熱が出てから 12～24 時間くらい過ぎたころ」が一番適切なタイミングだと考えます。

インフルエンザが疑われる方で、午後や夕方に熱が出始めたのなら、翌朝の検査をおすすめします。真夜中や朝起きた時に熱に気付いたら、夕方に検査したほうが良いでしょう。



スギ花粉症・・・そろそろ対策を！

関東平野のスギ花粉は 3 月がピークですが、地域によっては 2 月から飛びはじめます。今年のスギ花粉は例年よりも多いという予想が出ています。毎年症状が出る方は今から対策や治療を始めた方が良いでしょう。

花粉対策の第一番は「花粉を避ける」こと

外出するときは、マスクやメガネ、帽子などでスギ花粉を目や鼻に入れないようにしましょう。

家の中に花粉を持ち込まないことも大切です。外出から帰宅した時は、玄関に入る前に服に着いた花粉を叩き落とすこと。洗濯物は室内干しで我慢すること、布団も干さない方が無難です。晴れた日に窓を開けるのも止めましょう。

予防薬は花粉が飛ぶ前（症状が出る前）に開始することがポイントです。

スギ花粉症の「舌下免疫療法」

スギ花粉エキスを少しずつ体に入れて、体をスギ花粉に慣らすことにより症状を少なくするという治療です。免疫療法（めんえきりょうほう）と呼ばれています。口の中心（舌の下）にエキスを垂らすので「舌下免疫療法」と言います。保険適応があります。興味のある方は院長までご相談ください。

なお「舌下免疫療法はスギ花粉が飛んでいる時期には開始しないこと」という決まりがありますので、治療を始められるのは、早くても 6 月以降になります。



当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。



加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150